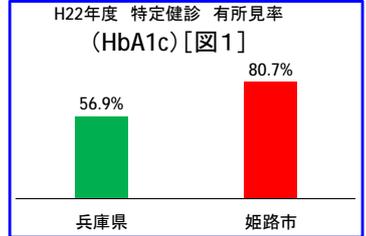


背景



当薬局の位置する姫路市の平成22年の統計調査によると、特定健診受診率は32.4%と低く、**特定健診受診者においては、HbA1cの有所見率が80.7%に上っており、県平均と比較して高値を示している**(図1)。このことから、未受診や治療中断している血糖異常者が当地域に多数存在する可能性が危惧される。そこで今回我々は、姫路市における血糖異常者の受診勧奨・セルフケア意識の向上を目的に、HbA1cの検体測定イベントを企画・実施し、データの解析を行った。



※「姫路市国民健康保険 第2期特定健康診査等実施計画」より抜粋

方法

<イベント概要>

開催日時: H28年7月10日(日)10:30~16:00
 開催場所: ぼうしや薬局 本店ビル
 測定機器: アリア Afinionアナライザー3機
 測定試薬: アリア Afinion™ HbA1c
 測定項目: HbA1c



健康イベントの一企画で
検体測定を実施

<イベントスタッフ育成>

◎スタッフ講習(開催1か月前)・リハーサル(開催2週間前)
 【内容】検体測定事業とその意義、ガイドラインについて等



<終了後アンケート>

◎受検者へは測定の待ち時間にアンケート記入依頼
 ◎スタッフへはイベント終了後にアンケート記入依頼

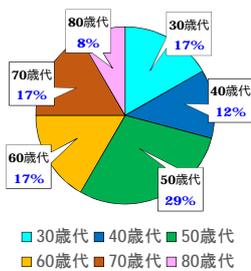


回答	割合
かなりそう思う	37%
どちらともいえない	13%
ある程度思う	50%

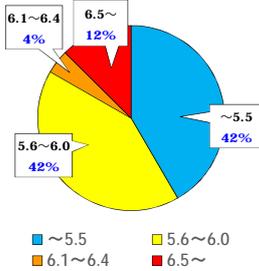
結果

受検者数: **24名**(男性8名、女性16名)
 平均年齢: **58歳**(中央値58.5歳)
 <最高齢80歳、最年少31歳>
 平均HbA1c値: **5.9%**(中央値5.7%)
 <最高値11.2%、最低値4.8%>

[図2] 年齢構成比

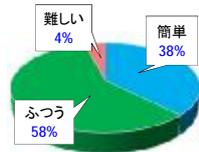


[図3] HbA1c値(%)

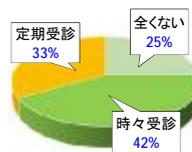


<受検者アンケート>

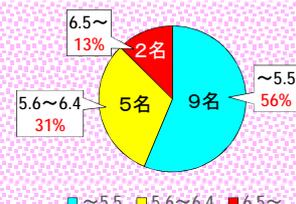
[図4] 手技の難易度



[図5] 病院受診

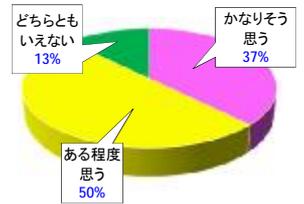


[図7] 定期受診していない受検者のHbA1c(%)



<スタッフアンケート>

[図6] 検体測定は薬局の重要な活動と思うか?



<その他意見>

◎検体測定は疾患の早期発見やセルフメディケーションの推進において重要な取り組みだと思う。
 ◎検査結果についてコメントできないことや認知度が低いことに歯がゆさを感じた。
 ◎地域の健康をサポートする薬局の機能として検体測定事業は重要だと思う。

考察

- 特定健診受診率が低く、HbA1cの有所見率が高値である当地域(姫路市)においてHbA1c測定イベントをトラブルなく実施することができた。
- 受検者の年齢層は幅広く(図2)、また定期受診していない受検者のうち保健指導判定値(HbA1c \geq 5.6)以上を示した受検者を一定割合で発見することができた(図7)。
- 受検者へのアンケートより、手技の難易度について簡単・普通と答えた受検者が96%を占めたことから、幅広い年齢層において実施可能な手技であることが示唆された(図4)。
- イベント後のスタッフアンケートにおいて、検体測定が薬局において重要な活動と答えた薬剤師が多く存在した。このことから、イベントを通して、検体測定が薬局にとって重要な活動であることを薬剤師が認識できたことがわかった(図6)。

姫路市におけるHbA1cの有所見率が高い原因として、未治療や治療中断、保健指導の未利用等が考えられている。これらのことから、セルフケア意識の向上や受診勧奨につながるステップとして、**この地域で簡易にHbA1cを測定する機会を提供できた意義は高いと考えられる**。今後はイベント規模の拡大や検体測定室の常設を行い、姫路市の血糖異常者のセルフケア意識の向上や受診勧奨につなげていきたい。

薬局のHbA1c測定により地域の血糖異常者を発見し受診やセルフケア意識の向上につなげることができる!

